

Sustainable Report No.139

未利用魚で 食料自給率を上げる

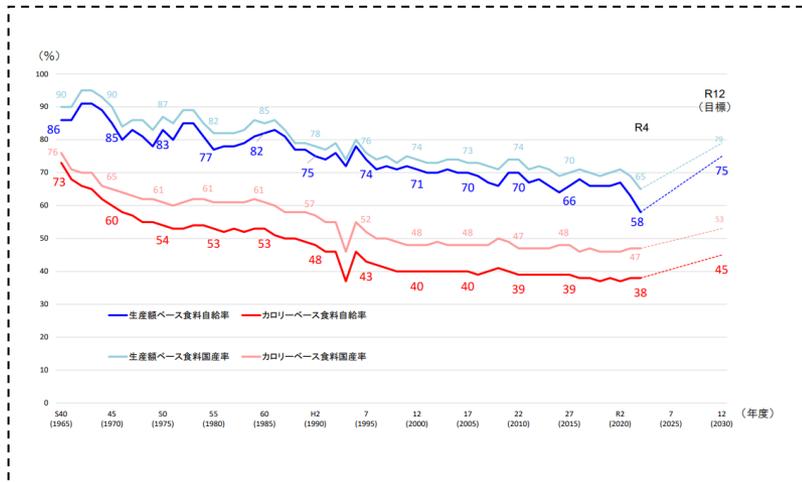


サステナブルレポートとは、サステナビリティを指標に社会課題や環境課題からテーマを選定し、それらの背景・ソリューション事例・将来への展望などを考察する独自の調査報告書です。
小川電機グループは、全従業員ひとりひとりが本レポートを作成・発信する取組みを行っています。

■ 課題の現状／経緯／影響

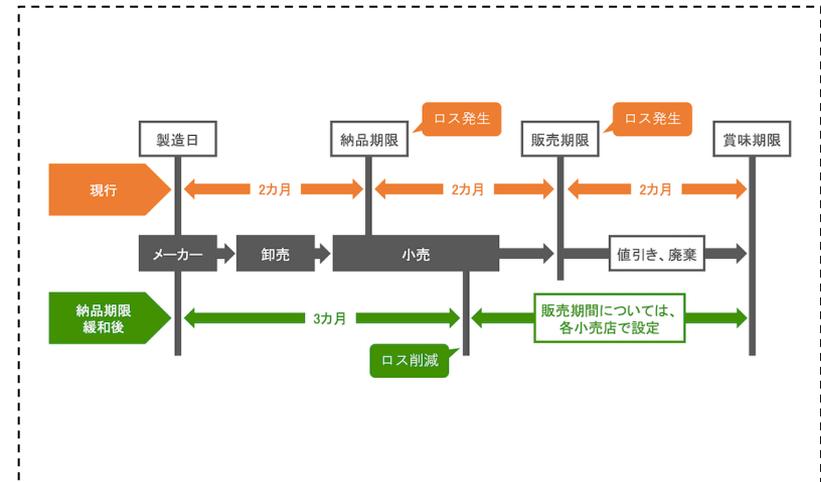
- 2021年、世界では**年間25億トンの食料が廃棄**された。これは生産量の内、約40%にもものぼる。
- 日本では、食材食品の**規格が細かく**、加工や販売の**効率性を重視**しているためであり、**賞味期限の設定**も厳しいことが要因に挙げられる。
- 日本の**食料自給率**はカロリーベースで38%（2022年）であり、2030年までに45%以上に**引き上げる**ことを目標としている。

■ 日本の食料自給率



出典：農林水産省

■ 納品期限の緩和（賞味期間6カ月の例）



出典：日本財団ジャーナル | 農林水産省

▶ NEXT : 未利用魚を使ったラーメン

■ 実行者／解決方法／残る課題

- 大阪府吹田市のエースコック株式会社は“もったいないを、おいしいに変えてしまおう！”を掲げ、**食べて学べて食品ロス削減**にも貢献できるカップめんを展開。
- 2022年10月の第1弾に続き2023年10月は第3弾「陸奥の鯖だし」シリーズを発売。**食用として利用されにくい魚体**の小さい青森の未利用さばを**スープに有効活用**する。
- 商品価格は常に安くあるべきと考えられやすいが、一般的なインスタントラーメンの**相場価格同等の値付け**がされている。

■ 陸奥の鯖だし魚介醤油／濃コク味噌ラーメン



出典：[エースコック株式会社](#)

■ 2008年“環境元年”からカップめん環境負荷軽減



出典：[エースコック株式会社](#)

▶NEXT：「未利用魚＝価値が高い」へ

■ 弊害の原因／理想／企業施策

- 消費者は**未利用魚 = 価値が低いイメージ**がもともとあるが、実際にはその流通や加工に手間がかかることが多く、消費者の印象とギャップが生まれやすいのではないかと。
- 商品価格が安くなることよりも、生産に際しての時間暇や、環境に配慮する**価値が全面に押し出されるべき**である。
- 企業は、パッケージや広告など、**SDGsに配慮した宣言**をもって他の商品にも展開していくことを発信することができる。

■ 未利用魚とは 利用されない原因と注目の理由

未利用魚が利用されない理由

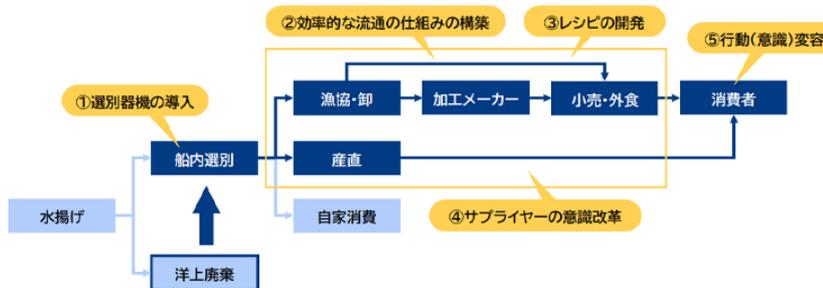
- 規格外
- 船上における労働力不足
- 見た目が悪い
- 物流・出荷資材費用で原価割れ

未利用魚が注目される理由

- 日本の漁獲・養殖生産量が減少しているため
- 海外では魚介類に対する需要が急上昇しているため
- 日本の食文化と和食の維持・発展につながるため

出所：朝日新聞 | 増淵舞

■ 未利用魚の普及に向けたアプローチ



出典：三菱総合研究所

本レポートをご覧いただき、ありがとうございました

■ 参照・引用資料

- 農林水産省, 「日本の食料自給率」, 2024年4月25日参照 (https://www.maff.go.jp/j/zyukyu/zikyu_ritu/012.html)
- 日本財団, 「世界で捨てられる食べ物の量、年間25億トン。食品ロスを減らすためにできること」, 2024年8月13日 (https://www.nippon-foundation.or.jp/journal/2023/84322/food_loss)
- エースコック株式会社, 「もったいないをおいしさに 陸奥の鯖だし魚介醤油ラーメン／陸奥の鯖だし濃コク味噌ラーメン 2023/10/16 新発売」, 2023年10月16日 (<https://www.acecook.co.jp/news/002620/>)
- エースコック株式会社, 「サステナビリティ」, 2024年4月25日参照 (<https://www.acecook.co.jp/company/sustainability/>)
- 朝日新聞SDGs ACTION!, 国際農林水産業研究センター水産領域長 宮田勉, 「未利用魚とは? 利用されない原因や注目の理由、活用事例を紹介」, 2023年5月15日 (<https://www.asahi.com/sdgs/article/14907891>)
- 三菱総合研究所, 「「未利用魚」活用に向けたアプローチ 外食実証からの考察」, 2023年1月24日 (<https://www.mri.co.jp/knowledge/column/20230124.html>)

■ サステナブルレポートに関するお問い合わせ先



小川電機株式会社

〒545-0021 大阪府大阪市阿倍野区阪南町2丁目2番4号

tel:06-6621-0031(代)

- 本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。
- 本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。
- 本レポートの配信に関して閲覧した方が本レポートを利用したこと又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失利益及び損害を含むいかなる結果についても責任を負いません。
- 本レポートに関する知的著作権は株式会社小川電機に帰属し、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。